

2025年12月期

決算説明資料

木徳神糧株式会社



2025年12月期 連結業績の概況

增收・増益(過去最高益)

単位：百万円

	前期 (2024年)	当期 (2025年)	増減額	前年同期比
売上高	118,998	176,191	57,193	148.1%
売上総利益 売上比	9,030 7.6%	15,741 8.9%	6,711	174.3%
販売費及び一般管理費 売上比	6,653 5.6%	7,715 4.4%	1,062	116.0%
営業利益 売上比	2,377 2.0%	8,025 4.6%	5,648	337.6%
経常利益 売上比	2,485 2.1%	8,169 4.6%	5,684	328.7%
特別損益 売上比	16 —	▲232 —	▲248	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上比	1,723 1.4%	5,520 3.1%	3,797	320.4%

売上高 (セグメント別)

単位：百万円

200,000

180,000

160,000

140,000

120,000

100,000

80,000

60,000

40,000

20,000

0



米穀事業



- ・米価高騰に伴う販売単価の上昇
- ・政府備蓄米の取り扱いと迅速な全国への流通による販売量の増加
- ・MA取引およびSBS取引による大幅な売上増

鶏卵事業



- ・鳥インフルの影響に伴う
鶏卵相場の上昇

118,998

3,364
8,736
10,331

96,566

前期(2024年)

176,191

3,426
10,882
10,556

151,325

米穀事業
56.7%増
(前年比)

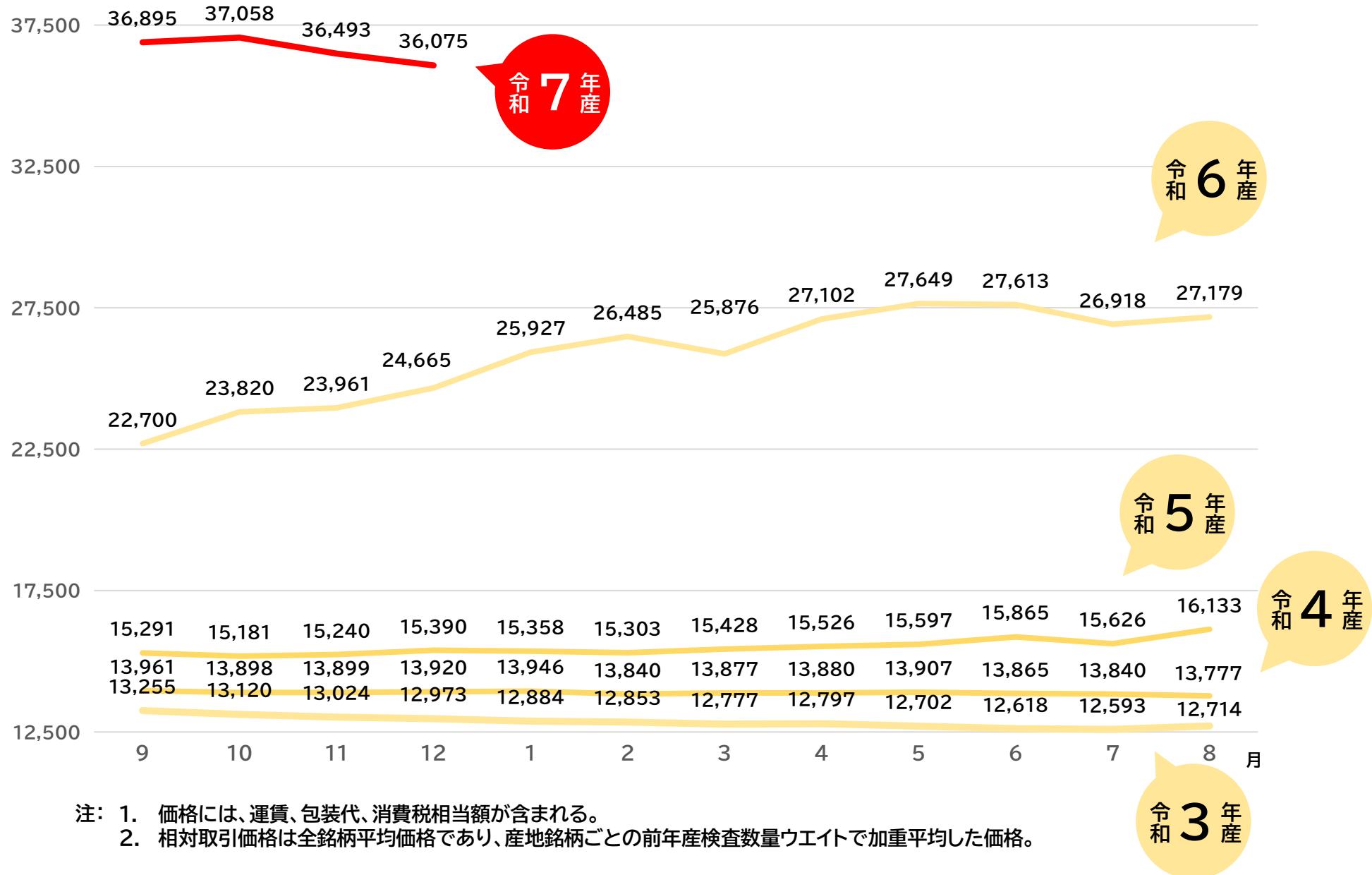
当期(2025年)

- 食品事業
- 鶏卵事業
- 飼料事業
- 米穀事業

571 億円
48.1%増
(前年比)

コメの相対取引価格の推移

単位:円/60kg



販売数量（米穀事業）

単位:千トン

精米(国内産)



- ・業務用向けは微減するも、家庭用向け精米販売が堅調

玄米(国内産)



- ・米不足により卸業者間の玄米販売が減少

精米(外国産)



- ・ミニマム・アクセス米の取扱数量が大幅増加

500.0

450.0

400.0

350.0

300.0

250.0

200.0

150.0

100.0

50.0

0.0

35万8千トン

93.9

170.8

93.5

8万9千トン

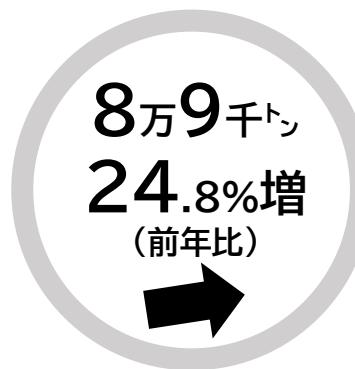
24.8%増
(前年比)

44万7千トン

62.0

179.6

205.7



前期
(2024年)

当期
(2025年)

- 玄米(国内産)
- 精米(国内産)
- 精米(外国産)

営業利益（セグメント別）

米穀事業



- ・安定供給を最優先とした販売や流通に注力。仕入価格の変動を適時・適切に反映
- ・需要の強い家庭用向け商品に対応

飼料事業



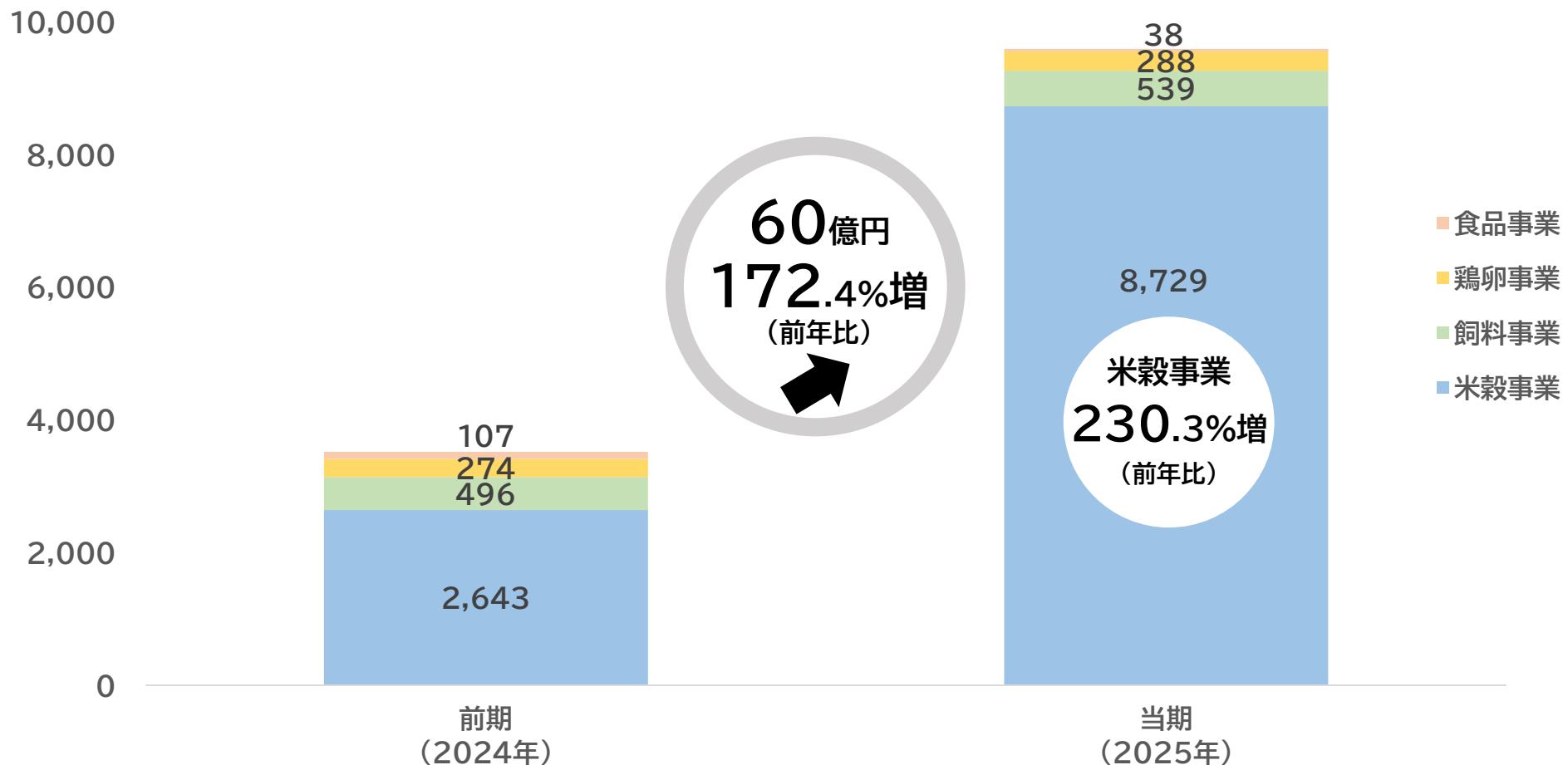
- ・需給動向に合わせた販売構成の見直しと販売提案への注力

食品事業



- ・原料高騰するも、価格改定の反映に遅れが生じる

単位:百万円



資産、負債及び純資産の状況（1）

単位:百万円

【資産の部】

単位:百万円

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0



当期末
(2025年12月末)

流動資産 +16,076

たな卸資産 +12,929

売掛金等 +3,189

前渡金※ ▲1,652

現金及び預金 +1,496

※要因は主にミニマム・アクセス米に係る取引によるもの

固定資産 +367

投資有価証券 + 403

長期前払費用 ▲45

有形固定資産 +24

資産、負債及び純資産の状況（2）

単位:百万円

【負債・純資産の部】

単位:百万円

60,000

50,000

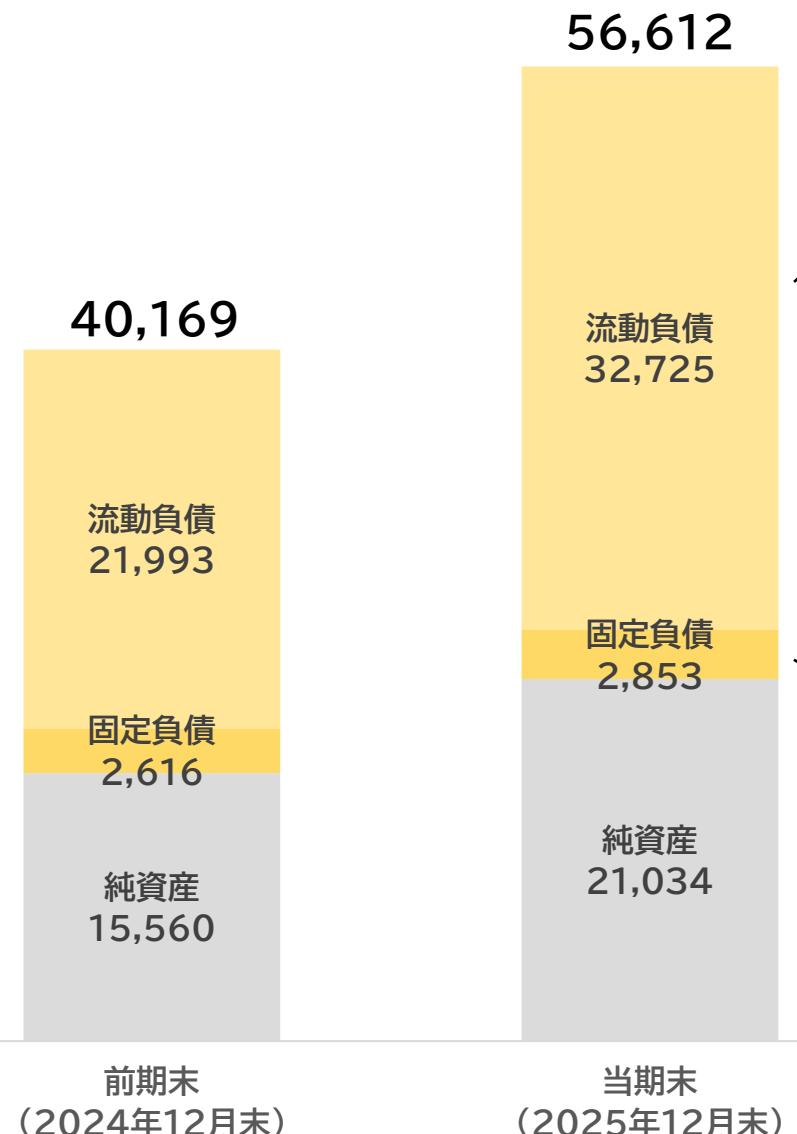
40,000

30,000

20,000

10,000

0



流動負債 +10,732

買掛金 +5,413

短期借入金等※ +3,158

未払法人税等 +1,829

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

固定負債 +237

長期借入金 +548

繰延税金負債 △218

役員退職慰労引当金 △123

決算ハイライト (B/S)

	前期末 (2024年12月末)	当期末 (2025年12月末)	増減
総資産(百万円)	40,169	56,612	+16,443
純資産(百万円)	15,560	21,034	+5,474
自己資本比率	37.3%	36.1%	△1.3
1株当たり純資産(円)※	1,837.04	2,498.06	+661.02

(参考)自己資本:2024年12月末 15,002百万円、2025年12月末 20,430百万円

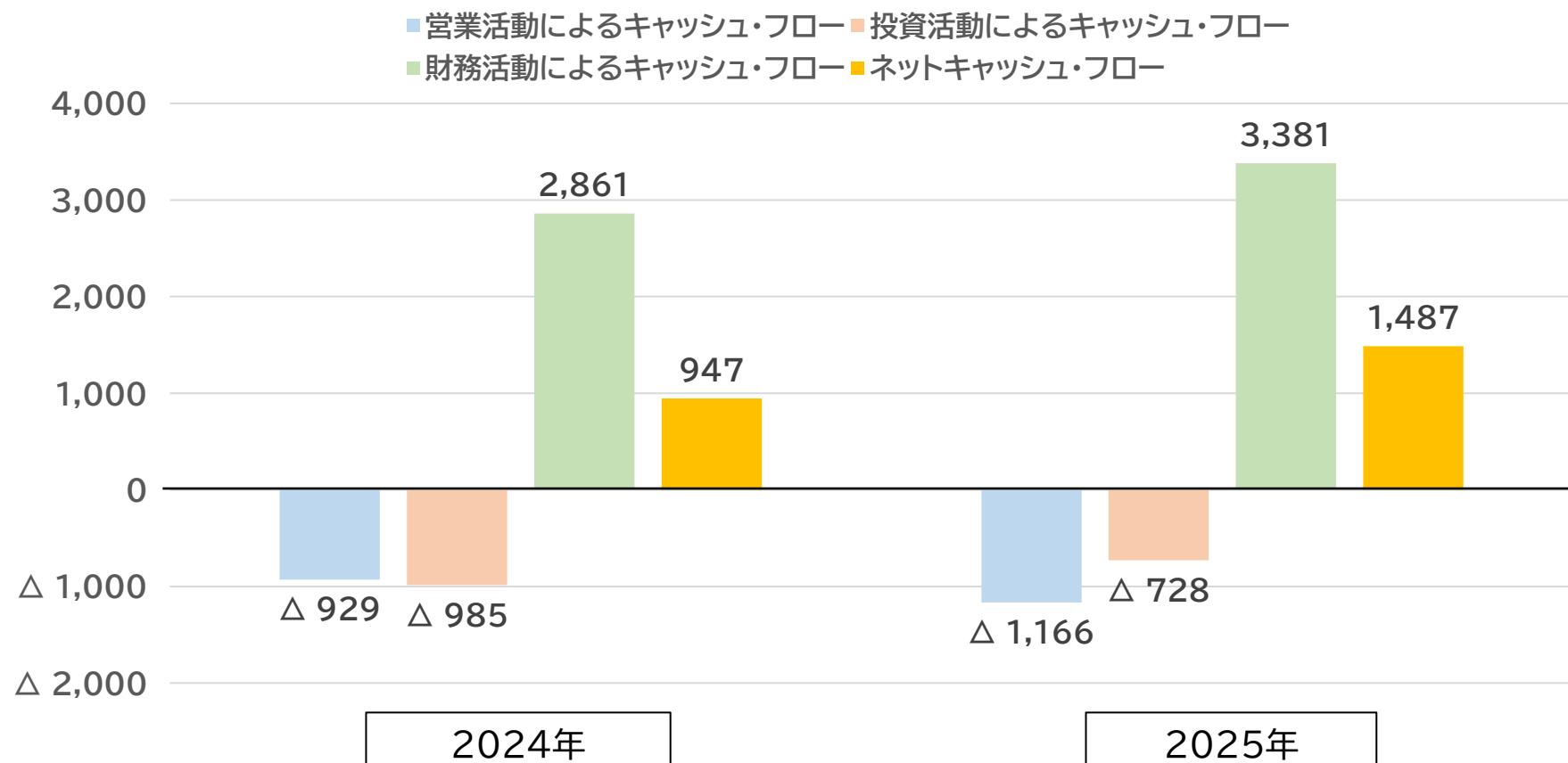
※ 2025年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定。

決算ハイライト (C/F)

単位：百万円

	前期 (2024年)	当期 (2025年)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△929	△1,166	△237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△985	△728	+257
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,861	3,381	+520



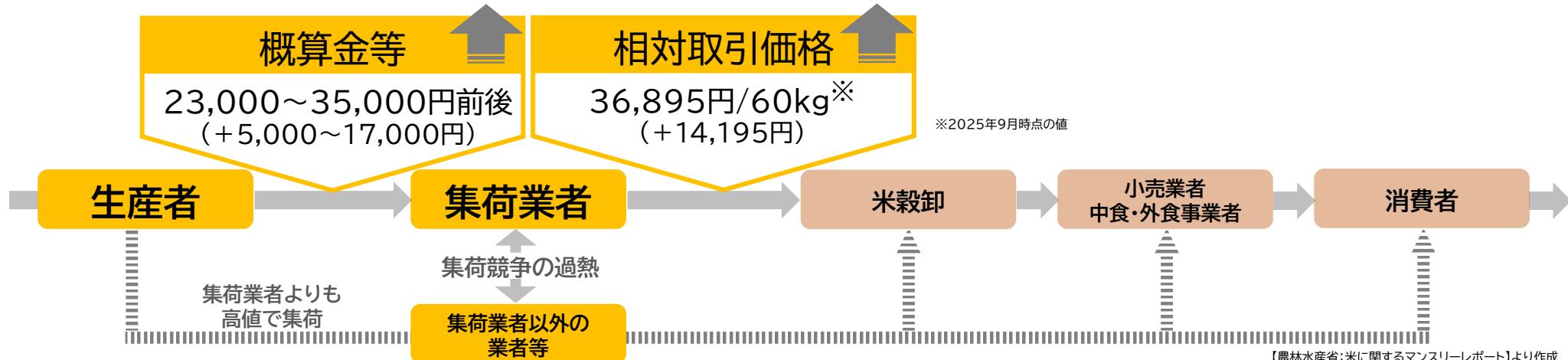


経営環境

米穀事業を取り巻く環境①

米穀取引価格の動向

- 令和7年産米の価格決定の時点では、天候等による生産量不足への懸念が残る。
- 需要サイドから安定調達が求められる中、集荷量への不安が払拭できないために、集荷競争が激化。生産現場から流通に乗る段階から取引価格が高騰する。



令和7年産米の主食用米の生産量の動向

- 加工米・新規需要米・備蓄米から主食用米への作付転換が進む。
- 水稻の作付面積自体は減少傾向
- 懸念されていた猛暑等による天候不順の影響も見受けられない



※生産者が使用のふるい目幅(1.80mm~1.90mm)ベース、玄米ベース
【農林水産省:米に関するマンスリーレポート】より作成

結果的に主食用米への作付転換により令和7年産米の生産量は急増。
一方で、生産量への不安や強い安定調達の要望から、集荷競争が激化、価格高騰が著しい。

米穀事業を取り巻く環境②

2026年の主食用の需要量見通し

外国産米の関税輸入量

9.6万トン
(+9.5万トン)

過去最多

政府備蓄米の放出

入札方式 約31万トン
随意契約 約28万トン

緊急措置対応

2026年主食用の需要量

697~711万トン
(△2~16万トン)

消費減少傾向

2026年6月末民間在庫量

215~229万トン
(前年155万トン)

在庫増加傾向

2025年12月時点の販売数量動向と民間在庫量

販売数量の動向

業務用 11ヶ月連続減少
家庭用 2ヶ月連続減少

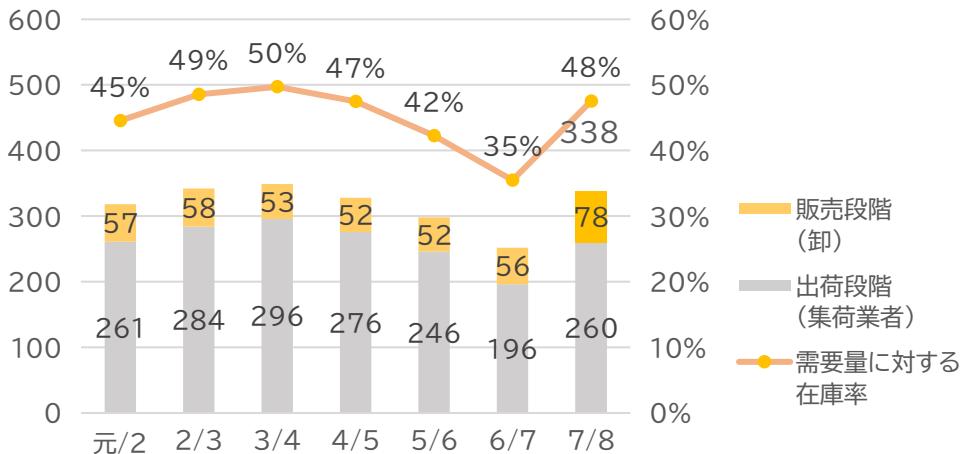
※1 家庭用は南海トラフ地震臨時情報の発令に伴い特需が発生。
特需要因を除くと、16ヶ月減少
※玄米仕入数量5万トン以上の販売業者が調査対象

集荷業者の販売量

50.4万トン
(△11.6万トン)

12月として過去最低

12月末民間在庫量・在庫率



【農林水産省:米に関するマンスリーレポート】より作成

【農林水産省:米に関するマンスリーレポート】より作成

2026年12月期の米穀事業環境の見通し



需給

政府備蓄米の大規模放出と外国産米の輸入急増の中で、令和7年産米の収穫量が予想以上の増加となる。年間供給量が需要量予想を大幅に上回る状況に。



流通

集荷競争で引き起こされた仕入価格の高騰により、販売価格が一段と高くなる。消費者の購買意欲に大きく影響を及ぼし、主に家庭用向けの販売が不振に。



価格

消費マインドの悪化で、在庫滞留の懸念から買い手の買付意欲が低下し、スポット取引市場では取引数量の減少とともに、取引価格も下落傾向に。

令和7年産が流通し始めるも、価格高騰を背景に、消費者の購買意欲は減退。在庫消化の進捗が振るわず、流通各段階において在庫滞留が発生、価格動向が不透明に。

厳しい環境の中で、生産者と消費者の架け橋になる存在意義を發揮し、日本のコメ食文化を守り、コメ食のインフラ企業へと『ステージチェンジ』していく

2026年12期連結業績予想

連結業績の見通し

単位：百万円

	2025年12月期通期	2026年12月期通期 見通し	前期実績との差	前期実績 増減率
売上高	176,191	200,000	+23,809	13.5%
営業利益	8,025	4,000	△4,025	△50.2%
経常利益	8,169	4,000	△4,169	△51.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,520	3,000	△2,520	△45.7%



注意事項

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2026年2月13日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL:03-3233-5125 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>